

平成30年度感染管理スキルアップ研修会がスタート

第1報

本研修会は、宮崎県内の安全な医療の実現のために感染管理に関するより専門的な知識及び技術を修得しチームリーダーとして多職種と連携し、所属施設の医療関連感染の予防と管理に貢献できる人材を育成することを目的として実施しています。県内の医療施設において感染管理を担う看護職22名が参加しています。

6～7月

講義・演習

7～9月

所属施設での
実践

10月

実践発表会

11月

最終報告書

31年1月

修了証書

※ 本年度の応募は終了しています。

講義



感染管理認定看護師
中村佐代 先生

最新の感染症の動向や知見について、根拠を踏まえて学修しています。県内で活躍する医師や感染管理認定看護師、学内講師が講義を行います。「感染症～易感染について～」「微生物概論」「洗浄・消毒・滅菌」「医療器具関連感染予防策」「職業感染予防策」など、所属施設での実践に活かせるプログラムとなっています。



演習

～ 感染性胃腸炎を想定した事例 ～



医療現場で直面する感染症事例を用いたグループワーク等を実施しています。所属施設の感染管理の質向上に向けて、どのように看護の専門性を発揮しながら課題に取り組んでいくのか、検討していきます。



感染管理認定看護師
山口順一 先生

実践モデルとなれるよう、
感染拡大予防を意識して
PPEの着脱を再確認！

～ 手指衛生/個人防護具の着脱の演習 ～



手指衛生が
適切に実施できたか
評価しよう

アンケートより

実際に手指衛生や防護具の着脱をしてみると、普段出来ているつもりが出来ていなかったり、手順が抜けていることに気付いた。実際に体験し考える事でさらに知識・技術が深まりました。

自分自身でしっかり根拠をもって対策ができるようになりたいと強く感じています。

グループワークでは、他施設の現状を知ることができ、所属施設の現状を振り返ることができるので非常に参考になります。 など

所属施設での実践は
第2報で報告！